



かとう 市議会だより

第50号
2019.8

はっとして ながめる湖上 美の祭典

今年も 家族 みんなで 楽しみましょう！

定例会の様子は
KCVにて生放送、
録画放送をしております
ぜひご覧ください

写真提供 森本匡俊氏

第50号
記念特集

開かれた議会の取り組みとして、定例会での審議や結果などをお知らせしている「市議会だより」。年に4回発行しており、2007（平成19）年5月の創刊から今回で第50号を迎えました。議会広報委員が市議会や市議会だよりを期待することを市内各地に出かけて聞いてきました。



芹生 強さん
（上滝野）

ときに、市政が実情と
あっているか。その
チェックする機能こそ、
議員の方の任務であら
うと思います。



働くお母さん
伊藤 夕子さん（下滝野）

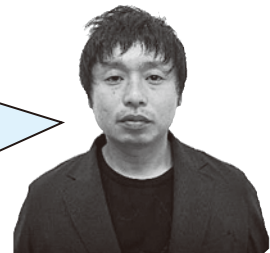
両親共、土日祝日にお仕
事の家庭って結構多いと
思います。そんな家庭の
ために学童保育を充実さ
せてもらいたいです。

市議会のみなさんには
家族への思いやり
のような気持ちで加
東市を見守っていた
だきたいです。



子育てと仕事に奮闘中の
上月 美紀子さん（山国）

加東市の農産物の特
徴を多くの人に知って
もらえるようなPR活動と、
地域のために頑張ろう
とする若者の応援をよ
ろしくお願いします。



農業法人
藤本 善仁さん（牧野）

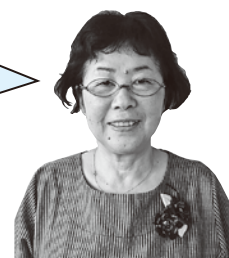
皆様の市議会に期待すること お聞かせください

消防団を取り巻く環
境の変化に対応す
べく活動していますが、
20～30年後を見
据えた議会対応を望
みます。

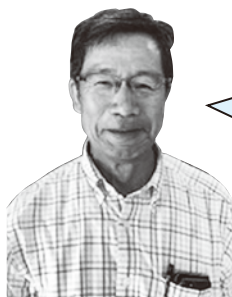


消防団副団長の
植田 竹吉さん（家原）

市議会だよりは、よく目
を通しています。コン
パクトシティ形成に向け
て、まちづくりに力を
入れてほしいと思います。



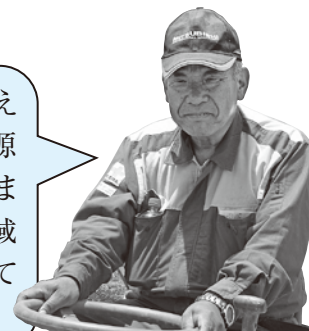
上月 尚子さん（東古瀬）



仕事中の
上月 昭彦さん（西垂水）

市議会だよりを毎号見
ています。議員の皆さ
んのご活躍がよく分か
りとても見やすいです。
ただ、議会中継のPR
を表紙に入れるのもい
いかと思います。

市政や各議員の考え
を知る身近な情報源
として愛読していま
す。特に、東条地域
の活性化に期待して
います。



田植え中の
藤原 陽一さん（岡本）

※ご協力いただきありがとうございました。

こんな質問が出ました
一般会計補正予算
【問】 宿泊施設の誘致事業の關係で測量の委託料があがっている。平成の初めごろ確定測量が済んでいるが、その必要性は。
【答】 基本的に復元測量と市道を拡幅するための測量である。
【問】 宿泊施設の誘致事業を一生懸命、市を挙げてやっているが、もし誘致できなかつた場合でも土地売却という方向は変わらないのか。

6月定例会を開催しました

会期6月3日～6月26日

皆さまに、ぜひお伝えしたいものを掲載します。



加東市マスコット 加東伝の助

【答】 基本的に現在売却という事で進めている。宿泊施設については、活力ある加東市を実現するための重要なパーツと認識しており、今後も営業活動をしながらか検討していく。
【問】 梅の木峠芦原線の工事内容が変更となつていますが、実際どういう工法で法面の修理を行うのか。
【答】 当初は、のり砕工とモルタル吹付の工法を予定していたが、崩壊土砂の防護柵で対応する。
【問】 社中学校の柔剣道場応急補強工事の件で、この柔剣道場は今危険であるとのこと。教育課程の中で一つの教室である。即、工事をしなくてはならないと思うが。
【答】 現状としては今使えない状況である。教育活動において、非常に学校は苦慮している。一刻も早く学習をこの場所で再開させてやりたい。
【問】 社中学校柔剣道場の耐力度調査の結果表を議会にも開示した上で説明を受けないと、この補正予算の必要性に疑問点が付く。
【答】 建物の周りに鉄骨を立てるといふのはあくまで応急補強工事のイメージであり、この設計委託も合わせて計上しているが具体的にどうするかということからは、今後検討することになる。

【問】 安全第一を優先するのは分かるが、現状でよほどの台風、暴風雨、豪雪がない限りもつと思うが。
【答】 耐力度調査で点数等の評価を見た限り、子どもの安全を考えれば応急処置で改修すべきと判断する。
反対討論
 伊勢湾台風(風速34m以上)クラスの台風が来ているときに社中学校の生徒が柔剣道場で運動するのはあり得ない。根拠のないことに反対する。(北原)
賛成討論
 柔剣道場は体育教師の教室であり、子どもの教室であるため賛成する。(廣畑)
 ホテル誘致に関しては土地が売れば良いという見方から賛成する。(藤尾)
 賛成多数で可決

条例一部改正等 ◎防災広場条例の制定 (改正の理由)



加東みらいこども園西隣に整備中の防災広場(9月利用開始予定)

全会一致で可決

大規模災害発生時における地域防災拠点として利用し、平常時は、住民へ開放することから公の施設に該当するため、防災広場の設置及び管理について定めるもの。
【問】 今回新しく条例制定されるが、都市公園条例との差別化は。
【答】 この防災広場については、地域防災計画に基づく緊急的な避難場所も含めての活用が図られる。平常時には、市民の憩いの場の活用を考えているが、公園条例の位置づけではない。

令和元年6月定例会各会計補正予算

(単位:千円)

会計種別			補正額	補正後の額	主な内容
一般会計(第1号)			88,026	20,498,026	法面修繕工事△75,420 社中学校柔剣道場応急補強工事9,729 新定地内地すべり恒久対策に係る工事費30,000
一般会計(第2号)			0	20,498,026	弁護士委託料1,782 交差点安全対策工事4,400 予備費△6,182
国民健康保険(1号)			853	3,830,420	システム改修委託料853
企業会計	水道事業(1号)	資本的収入	16,830	181,224	生活基盤施設耐震化等交付金16,830
		資本的支出	29,810	803,410	広沢送水管老朽管更新工事29,810

◎社・東条放課後児童健全育成施設条例の一部改正

〔改正の理由〕

三草放課後児童健全育成施設は、平成31年4月1日に三草こども園を運営する社会福祉法人に譲渡し、公の施設としての用途を廃止したため改正を行う。

【問】民間の事業者に4月1日に運営を譲渡しているのになぜ条例改正を3月議会に上程しなかったのか。

【答】本来3月議会に提案するべきであったが、漏れということ今回になった。

賛成多数で可決

決議案第一号

東条地域小中一貫校建設に係る実施設計の積算に関する検査を実施する決議（地方自治法第98条第1項）

〔提案理由〕

東条地域小中一貫校建設に係る入札が不調に終わったことを受け、市の実施した積算が適切であったか確認する必要があるため。

（小川・長谷川・桑村・山本）

反対討論

「検査」と「調査」を混同しており反対する。（大畑）

子どもたちのために今何をすべきか考えるべき。

（廣畑）

今からどうしていくかを議論すべき。

（井上）

賛成討論

私なら適切な積算ができる。

（北原）

入札不調の結果を受けて議会としても対応すべき。

（藤尾）

賛成少数で否決

意見書案第一号

下水道施設の改築に係る国庫補助の継続と予算枠の拡大を求める意見書

〔内容〕

1 下水道施設の改築に係る国庫補助制度を堅持すること。

2 その上で、災害時の機能保全、安全性確保の観点から、下水道施設の老朽化対策に必要な予算を確保する事。

3 南海トラフ地震や播磨地域を中心とした大規模被害が想定される山崎断層地震及び巨大台風をはじめとする自然災害に備える事前防災の観点から防災・減災対策等に必要予算を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

賛成多数で可決

財産取得

小型動力ポンプ付ポンプ自動車等購入

〔購入する財産〕

- ・小型動力ポンプ付ポンプ自動車（高岡分団）
- ・小型動力ポンプ無ポンプ自動車（社分団）
- ・小型動力ポンプ付積載車（常田分団）
- ・小型動力ポンプ無積載車（山国分団）

〔契約の相手方〕

有限会社岡本ポンプ

〔購入予定額〕

7639万9千2百円

賛成多数で可決

全員協議会

◎6月18日全員協議会が開催され、市長から東条地域小中一貫校建設工事の制限付一般競争入札不調の経緯報告があった。また、教育長から開校に係る今後の考え方の説明があった。

〔要旨〕

○東条地域小中一貫校の工事入札価格が市の予定価格

を大幅に上回り不調となった。

○国庫補助事業の採択要件から外れるため、今年度は再入札をしない。来年度再入札を行い、令和3年12月の完成を目指す。

○開校については、二案が示される。

（一案）予定通り令和3年4月に小中一貫の義務教育学校を開校する。新校舎の完成までは、東条東小学校、東条中学校を使用する。

（二案）義務教育学校の、開校を一年遅らせて令和4年4月とする。

今後、保護者のご意見をお伺いし、開校準備委員会等に諮り検討する。

○工期に余裕を持たせるため、補助対象外の外構工事の一部を本年入札し、本年度中の完成を予定している。

○合併特例債については、法改正で期限が5年延長され、手続きをすれば制度上は使える。

第85回定例会 議決結果一覧

（賛否の分かれたもの）※その他の議案は全会一致で可決

○・・・賛成 ×・・・反対

議案番号	議 案	北原	藤尾	廣畑	古跡	大畑	高瀬	長谷川	石井	岸本	小川	小栗	藤尾	桑村	山本	井上	議決結果
第31号議案	令和元年度一般会計補正予算（第1号）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決（賛成14 反対1）
第39号議案	社・東条放課後児童健全育成施設条例の一部を改正する条例制定の件	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決（賛成14 反対1）
第41号議案	令和元年度一般会計補正予算（第2号）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決（賛成14 反対1）
第42号議案	小型動力ポンプ付ポンプ自動車等購入の件	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決（賛成14 反対1）
意見書案第1号	下水道施設の改築に係る国庫補助の継続と予算枠の拡大を求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決（賛成14 反対1）
決議案第1号	東条地域小中一貫校建設に係る実施設計の積算に関する検査を実施する決議	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	否決（賛成7 反対8）

宿泊施設誘致検討へ!!

旧加東消防署跡地に

《箇所図》



所轄事務調査

宿泊施設事業者誘致に向けた取組について

- 場所 加東消防署跡地ほか
(加東市上中三丁目21ほか)
- 面積 約3500㎡
- 出店形態
土地事業者による購入
建物事業者による建築
- 規模 客室数120室以上
- 事業者選定方法
公募型プロポーザル方式
- 今後の予定
・7月から道路拡幅工事着手
・10月から旧消防署取壊し
・12月から事業者選定

こんな調査をしました

【問】支援措置は具体的に決まっているのか。

【答】5年間の固定資産税、都市計画税の奨励交付金、水道料金前年度使用量2千㎡を超える部分において1㎡当り50円を乗じた額の奨励金を考えている。

【問】経済波及効果は。

【答】既存の施設で22億2千万円程度、新規出店で5億4600万円増と見込んでいる。

学校施設における耐力度調査の結果報告について

耐力度とは：構造耐力×健全度×立地条件＝耐力度1万点（満点）（法令により4500点未満は構造上危険な状態の建物と判定）

【調査対象校】社中学校、東条東小学校、東条西小学校

【結果】校舎は3校とも基準を満たしているが、体育館は3校とも基準以下で、特に社中学校の柔剣道場は著しく点数が低い。

【対策】柔剣道場は暴風時に被害が出る可能性があり、使用を中止し、補強も含め対応を検討する。

【問】改修にあたって国が

らの補助はあるのか。

【答】この補強に関しては補助はない。

【問】東条東・西小学校は、一貫校開校後、活用方法は未定なので、解体して小びりなものを建てた方が良いのでは。

【答】結果が出た事で必ず今改修すべきものではないので、現段階ではその事は考えていない。

社地域小中一貫校について

【事業概要】
〔形態〕施設一体型小中一貫校（児童生徒数約1200人規模）

〔場所〕社中学校周辺
〔規模〕現中学校施設を活用し、施設延床面積約18400㎡を想定

【事業工程】

令和元年度 基本計画策定
令和2年度 基本設計
令和3年度 実施設計
令和4年度 建設工事着手
令和6年4月開校

【開校準備委員会】

第1回目を5月31日に35名で開催。今後随時開催。

【問】校舎の作り方として

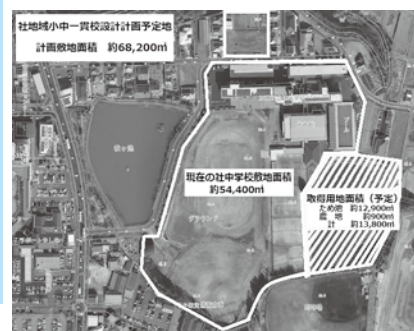
は併設型か一体型か。
【答】現段階では既存の施設を活かしつつ一体型と考

委員会の模様は、動画（ストリーミング配信）でもご覧いただけます。

加東市議会のWEBページ

<http://www.city.kato.lg.jp/gikai/index.html>

下のQRコードから「議会中継」→「録画中継」（録画中継を見る）→「委員会でさがす」→「総務文教・産業厚生」（一覧を見る）でご希望の日付をクリックしてご覧ください。



その他の主な事務調査
●認定こども園・保育所及びアフタースクールの利用状況について
●高速バス利用のアンケート結果と今後の方針
●北播磨清掃事務組合からの脱退に係る財産処分の協議の結果について

防災と福祉の 連携促進モデル事業

こんな調査をしました

所管事務調査

避難行動要支援者支援制度の現状と課題について

災害が発生又は発生のおそれが生じた時に、自力では避難が難しい方を、身近な地域の人たちで支援する制度で、災害対策法により市町村は避難行動要支援者名簿の作成が義務付けられ、地域は支援体制づくりが求められている。

【問】安心救急情報キットは地域の方は把握しているか。また、周知方法は。

【答】民生・児童委員にキットの配布をお願いし、玄関先に緑のマークを貼り付け対象者と理解できるようにしている。モデル事業のワークショップにおいては、地域で見守っていく事が重要であり、皆での取組を考えている。

【問】個別支援計画策定のアンケート数が少ないが、再調査の予定は。

【答】次回の名簿の整理に合わせて行うこととし、区

長会等に周知していきたい。

【問】外国人の方の避難支援が必要であるが、名簿登録者はあるか。

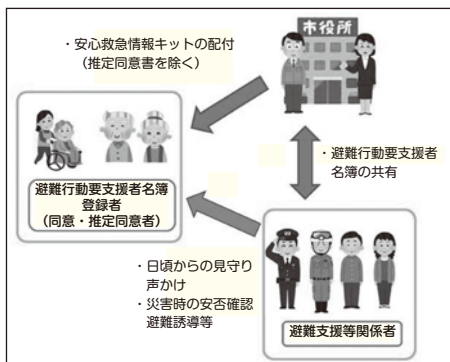
【答】現在は独居者、高齢者の方3名が登録している。支援制度の周知は、企業を通じて行う。

【問】妊婦、乳幼児、母子家庭等の支援はどのようになっているか。

【答】庁内で連携をとりながら、必要な措置を講じていく。

【問】この制度の課題は何か。

【答】個別支援計画が全域で策定されていない状況である。



やしろ鴨川の郷本館の修繕計画について

（老朽度調査の結果）今後運営を続けていく上で必要な修繕箇所と費用が判明した。躯体の耐用年数を考慮した築50年の運用を想定し、今後約30年間で、合計約2億6000万円の修繕費が必要になるとの結果が出た。

【主な修繕内容】

鴨川の郷の宿泊営業の経費等とともに、同施設のニーズ等を鑑みて検討した結果、本館とコテージの宿泊機能の統合は行わず、老朽度調査結果よりも修繕費を抑え、施設の機能維持を図る。

【経営改善について】

中小企業診断士に経営分析と収支改善策の検討を依頼。結果、固定費・変動費両面でのコスト削減と、売上の低い月の底上げが図れる。

【問】30年間の計画を立てる必要があるのか。

【答】躯体が50年持つと考えた結果、老朽度調査の考えに至った。

【問】ユニットバス化なしの修繕費用・工期抑制案で進めるのか。

【答】現状の機能を維持す

るための修繕とする。併せて経営改善計画を管理者と共に検討していく。

■現地視察



せせらぎ東条



その他の所管事務調査

- 加古川改修工事、築堤、油谷川築堤他工事について
- 国道372号野村河高バイパスのランプ化及び福田橋撤去の状況について
- 平成30年度加東市民病院事業部業務状況について
- 協議事項
- 下水道施設の改築に係わる国庫補助の継続と予算枠の拡大を求める意見書の提出について

令和元年 第18回議会報告会を開催しました

5月8日(水)ミナクル
参加者…19人



5月9日(木)河高交流センター
参加者…22人



5月10日(金)社公民館
参加者…26人



◇市へ要望として提出し議会に回答を求めたもの◇

①東条学園の建設が始まるが、建設をスムーズに進めることが必要。そのためには、今の東条中学校の下部法面で土砂が流れているところに、早急に土留めの対策をとるべきである。教育委員会や土木課の担当に聞くと、一部は今年工事するが、残りは予算がないので遅れるとのことだったが、土砂が流れたりすると東条学園の建設にも支障が出るのではないかと。

【回答】該当の法面については、以前から改修工事及びしがらネット柵の設置により対応してきました。

● 昨年度は集中豪雨等により表土が流出したため、まず、応急処置としてしがらネット柵を増設しました。今年度は法面の改修工事を実施する計画としています。施工時期につきましては、東条中学校と調整の上、秋以降に着工する予定です。なお、この工事により東条学園の建設に支障が出ることはありません。

②滝野工業団地は、現在13社あるが、社員を雇用したくても敷地内の駐車場が不足している。周辺にある調整池では、白線を引いて駐車場として活用されているので、他の調整池を活用するなど、市で早急に工業団地周辺に駐車場を確保していただきたい。

【回答】駐車場不足については企業側からも伺っており、市と滝野工業団地連絡協議会とで既存敷地の活用等について協議します。調整池は本来、雨水排水をストックするための施設であるため、大雨の際には車が冠水する恐れがあります。安全面等の観点から、長期間に渡り社員用駐車場とすることは避けるべきと考えます。

③滝野工業団地で働く人が、住居を小野市に建設している。JR社町駅の西側の土地を開発し、宅地及びバスターミナルかロータリーをつくるべき。税収の確保にもつながるのでは。

【回答】ご提案のJR社町駅の西側の区域は市街化調整区域であり、また、農振農用地区域であることから農業以外の土地利用については、厳しい制限があり、優先して宅地開発等を行うことができない区域となっています。滝野工業団地と小野市の直近の距離は約1.5km程度ですが、加東市内の同距離内には、住宅地の未利用地が存在し、また、諸要件はあるものの農振除外地もあり、住宅建設用の土地はあると考えており、そういった土地の利用を優先すべきと考えます。

④東条学園は、4・3・2制でやっていくとのことだが、子どもたちの精神的な発達に沿うように移行してほしい。

【回答】初めの4年間は、学習面での基礎基本や学習・生活習慣の定着を図ります。次の3年間では、一部教科担任制を取り入れ、前期で身に付けたことを徹底させ、思春期の課題に対応します。最後の2年間では、15歳の旅立ちに向け、自主自立の態度の育成や興味・関心・能力に応じた個性の伸長を図ります。各発達段階を考慮したのが4・3・2制であり、より充実した教育活動に向け、スムーズな移行を図ります。

< 次のページへ続く >



◇ 市へ要望として提出し議会に回答を求めたもの ◇

⑤ 総合計画時のアンケートで「環境が良い」との答えが多かったが、これは“田”が多いからだと思う。農業を守るためにどうすればよいかを考える必要がある。JA・市・農家が協力して、農業を続けられる方策を検討すべきでは。

【回答】地域の農業を維持していくためには、「人」と「農地」の問題を一体的に解決していく必要があります。その解決手法として、国では、地域による「人・農地プラン」の策定を推進しており、将来の農業の担い手や、農地利用の在り方など、地域の実情に沿ったプランとすることで、地域の農業を守り、育てていくことにつながります。

市では、加西農業改良普及センターをはじめとした関係機関と連携し、地域によるプランの策定を支援するとともに、担い手育成のために新規就農や集落営農組織化への相談・支援を行っています。また、農業関係団体等で組織する加東市農業再生協議会において、地域農業の振興について、協議を行っています。

⑥ 防災行政無線放送（火災放送時）の言葉が、専門用語が多くわかりにくいので、改善をお願いしたい。

【回答】ご指摘の専門用語については、合成音声による放送における火災種別の部分かと推察します。

この火災種別は、消防統計上の種別に準じて「建物」「中高層建物」「林野」「車両」「危険物」「その他」の6つの火災種別に区分し、指令台にあらかじめ登録しています。火災が発生した時には、通報を受けた指令台から消防署へ送信される出動指令データと連動し、自動的に合成音声による防災行政無線放送を行っており、これにより情報周知の迅速化及び情報の漏れや誤りの軽減に寄与しているものと考えますので、何卒ご理解ください。

なお、北はりま消防本部管内で発生する「その他火災」のほとんどが、農地等のわら、枯草の焼却から燃え広がった火災です。また、防災行政無線を補完するものとして、かとう安全安心ネットメールにて詳細な内容を提供できるよう、情報の追加を検討します。

⑦ 神戸新聞「イイミミ」欄に、加東市民から病院の職員の接遇の悪さについて投稿されていた。加東市民病院ではないだろうが、他人事とは思わず、うちではこれはないと胸を張って言えるよう気を引き締めて運営に当たってほしい。

【回答】職員の接遇について、外来では定期的に、入院では退院時に、医師をはじめとする各職員の身だしなみ、言葉遣いを含めた説明の分かりやすさ等の患者アンケートを実施しています。また、意見箱を設置し、随時患者さまの声をお聞きしています。その情報を基に検討を行い、必要に応じて現場にフィードバックし、接遇の向上に努めています。外来診察の待ち時間が長くなることや入院中の療養生活上ご不便が発生することもあります。引き続き、快適に診療を受けていただけるよう努めていきます。

⑧ 市役所周辺にある銀杏並木の実が多く落ちており、散歩中に「臭い」との苦情が出ている。対策を行うことはできないか。

【回答】銀杏並木の実について、秋の多数落下する時期に定期的な清掃を行います。



⑨ 吉馬地区の吉馬川（1級河川）に、^{かや}萱が繁茂して景観が悪い。県の管理河川であり、地区から何度も県に整備要望を行ったが、優先順位が決まっているようで、すぐには整備してくれないので、市から要望してもらいたい。

【回答】吉馬川の件について、県へ要望を行い、次の回答を得ました。「河川の堆積土砂浚渫は河川断面の3割程度を目安に、また、河川内の除草は萱等が著しく河川の流水を阻害している場合に、治水上・河川管理上必要な箇所について、関係者の協力を得ながら実施しています。現在の吉馬川においては、河床低下や堆積がありますが治水上影響は少ないと思われます。また、萱等は出水時には倒れるため流水阻害は少ないと考えています。よって現時点では、優先性・緊急性は低いと判断しています。」

今後も、堆積状況等河川監視や地元要望を踏まえ、治水上必要な箇所から優先順位を決め順次対応していきたいと考えています。河川除草等景観への配慮の必要性はありますが、治水能力確保を第一に対策を行っていきます。」



バスターミナル整備の必要性について問う

小川 忠市議員

問 バスターミナルを必要とする背景は。

答 やしろショッピングパークB10周辺を、本市におけるまちの拠点「中心部」に位置づけているが、公共交通の利便性が十分とはいえない。「中心部」の活性化を図るためにも交流拠点として市内外からのアクセス性を高めることが重要であると捉えており、バスターミナル整備は有効な施策であると考えます。

問 他の自治体を視察するなどして類似する政策との比較検討をしたか。

答 三木市、相生市、福崎町など、県内の自治体が整備したバスターミナルを実際に見て回ったり、また、交通事業者等から意見を聞くなどして参考とした。

問 市場調査(リサーチ)は実施したか。

答 実際の市場調査は行っていないが、市民アンケートの結果から、やしろショッピングパークB10に併設したバスターミナルを整備することが有効であると考えた。

問 バスターミナル整備による経済効果や、その他の期待する効果は。

答 広域幹線バス路線のアクセス性が向上し、交通結節機能が充実することで、日常生活の移動に公共交通を利用する市民の利便性の向上を図り、また、市の「中心部」の活性化の足掛かりと

したい。

問 バスターミナルを整備することでまちが活性化すれば、バス事業者や商業施設事業者も増収効果が見込める。であるなら整備費用は、市単独ではなく、各事業者にも応分の負担を求め、官民一体の「協働」で整備するものではないか。昨年の常任委員会の説明でも「当然、市が全てを負担することはない。経費負担についても協議している。」と答えているではないか。

答 当時はそのスタンスで協議を進めていた。ただ、協議を進めていく中で、交通施設のバスターミナルは、全ての市の経費で整備し、バス事業者には新しいバス路線の設定等を、商業施設事業者には中心市街地に立地している商業施設としての体裁等を、事業者自身で魅力アップなどのソフト面を担っていただくことで「協働」の取組になっていくものと考えている。

その他の質問

- 公共施設適正配置計画推進の進捗状況を問う。
- 社地域小中一貫校開校までの進め方について



「子育て世帯の経済状況調査」の結果を受け、教育方針を問う

廣畑 貞一議員

問 子育て世帯の経済状況による発達・保育保障はできているのか。

答 児童生徒の家庭の経済状況により、二次的影響となる学習遅滞、いじめ、不登校、児童虐待、問題行動等の問題を未然に防ぐため、質問六点に答える。一つ目「生涯学習への活動について」子どもが自由に参加しやすい活動をより多く提供できるように、実態を的確に把握し、各種活動への支援策等について、仕組みづくりも含めて再考していかねければならないと考える。二つ目「各学校経営方針について」小中連携したキャリア教育を大きな柱として継続した学校経営を進めていく。三つ目「生徒指導について」課題解決のため、スクールソーシャルワーカーを中心として、福祉的支援体制をとっている。さらに、児童生徒数の多い学校には支援教員を配置し、個別の学習指導、生徒指導・支援、進路指導等を組織的に行っている。四つ目「教科学習指導について」家庭での学習が難しい子どもへは、できる限り学校の授業で課題を明確にし、個に応じた宿題で支援ができるように進める。本年度より問題データベースによる習熟度別課題を導入する。五つ目「進路学習における特別活動の活用について」高校・大学で

の奨学金制度や小中学校には、就学支援金制度を具体的に説明し、子どもが日々の学習や進路に意欲的に取り組めるよう保護者と共に考えていく。六つ目「道徳学習について」いかなる家庭環境においても自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、誰に対しても差別や偏見を持つことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努める児童生徒を育成する。

家庭の経済状況により、二次的影響となる学習遅延、いじめ、不登校、児童虐待、問題行動等を未然に防ぐため、個別にきめ細かな支援を行い、児童生徒の自尊感情の形成に関わる課題を確実に把握し、児童生徒の自己実現を支援する。

問 兵庫教育大学と市の全市民に開かれた連携について

答 市に大学が立地する優位性を活かして、有効な連携事業について、今後一層の連携協力を図っていく必要がある。連携事業などを通して、市民の認識を含め、大学の存在意義を高めるとともに、まちの活力維持に繋げる好循環を生む、大学とのさらなる関係性の向上に努めていきたいと考えている。

子ども見守り隊の現状について

岸本眞知子 議員



問 子ども見守り隊の所管は。

答 教育委員会や市が所管しているのではなく、各小学校区のPTAや自治会、老人会等が主体となっており、活動をしていただいている。

問 諸々の問題が出た時の対応に、母体あつての体制づくりが必要では。

答 地域において、組織を整理していただけたらありがたい。

問 子ども見守り隊で活動されている方への安全面の対応は。

答 全小中学校で、ボランティア活動を対象とした保険に加入している。見守り隊も校外での活動ではあるが、対象であると確認している。

問 ユニフォーム等の統一したものが、見守り隊としての意識を持つためにも必要ではないか。

答 市では、安全安心のまちづくり活動補助金を設けている。ウインドブレーカー等の購入費用も補助の対象になるので活用していただきたい。



■高齢者大学の取組みと今後の展望について

問 高齢者人口が増加する中、入学者が当初より約200人も減少となった要因は。

答 社会情勢として、定年の延長や年金制度の変化等により60歳を超えても仕事につき、忙しいという理由で参加者が減少しているのが最大の原因と考ええる。

問 高齢者大学と兵庫教育大学との関わり方として、学生との交流の機会を設けることは可能か。

答 高齢者大学の講座等の開催日が平日であることから、調整しにくい状況にあるが、工夫を凝らした手法を取り組むことができるかどうか、調査したいと考えている。

問 高齢者大学の活性化を図るための施策の考えはあるか。

答 第一に、学生のニーズ把握が必要だと考える。アンケート調査を実施、結果を分析し、大学の活性化に繋がるよう事業計画を検討する。

■コスミックホールの適切な空調管理を

答 耐用年数的にはかなり経っている。故障等した場合は、その時に判断する。

やしろ国際学習塾第一駐車場について

高瀬俊介 議員



問 やしろ国際学習塾第一駐車場を利用する際は、大小の道路を3回横断することになり、事故が心配である。今後、安全対策上新たな駐車場が必要ではないか。

答 やしろ国際学習塾のオープンに際し、第一駐車場の駐車可能台数133台、第二駐車場20台、第三駐車場90台、合計243台の駐車可能スペースを確保した。平成23年には、第三駐車場隣接地に用地を確保し、駐車可能台数を40台増やし、合計283台の駐車場スペースを確保している。十分とは言えないが、概ね足りていると認識している。また、第一駐車場からやしろ国際学習塾への移動の際の安全対策については、横断箇所前に車の運転手に注意喚起を促す為「歩行者注意」などの看板設置やイベント時には、警備員を配置するなど、現在できる安全対策上必要な処置を講じることで対応する。



横断歩道なし
(第1駐車場)

■市道木梨曾我線の一部歩道整備設置について

問 木梨側の急勾配12%の坂道は、これから利用し続ける通学路である生徒の見守り、交通安全の観点からも対策が必要と考えるが。

答 当該路線は、時間帯によっては通勤の車両や通学する生徒が利用されていることは、十分認識している。市道に関する歩道整備については、緊急度に従い整備することとなり当該路線の利用状況からは、近々に取り組むことは難しい状況である。しかし、安全対策として、車のスピードを落とすため「右カーブ・左カーブ」といった路面標示や「スピード落とせ」・「通学路」などの看板設置を検討する。具体的な施工箇所などの詳細については、地域の皆様や学校関係者の方々と現場確認・協議の上、決定したい。改善対策後も状況確認を行い、更なる対策が必要であるか検証していく。



急勾配12%の坂道

5年先10年先を見据えた 加東市の農業について

古跡 和 夫 議員



問 活性化ビジョンのアンケートでは、10年後の農業をやる人は32.4%しかない、この現状をどう打開していくのか。新規就農者が加東でなら農業でやっていけるという政策を求める。

答 農業に魅力を感じることが重要。法人が参入してくるのも一つの方法だが簡単ではない。

公共交通機関の維持と高校生の通学確保に関して

問 平木から社高校まで自転車で通学している女生徒がいる、中学ではスクールバスだったが高校生は乗れないからだと聞く。私も電動自転車と同じ道を走り、その距離だけでなく大きなトラック同士のすれ違いでは、絶えず止まって道路脇に避けるという経験をした。このままの状態でもいいのか、女性でもあるし、秋から冬にかけて陽が落ちるのが早くなるので心配になる。また、天神から電鉄小野駅までの路線廃止に関連して南山地区在住者で、高校に通えないと転居した人があると聞く。この現状を市としてどう見るか、通勤・通学に便利なところに暮らす傾向が進めば、公共交通機関のないところはますます取り残され過疎が進むのではと心配する。

答 国道372号については今すぐに

という対策はないが、どのような安全対策がとれるか検討が必要になる。小野への通学では、三田から天神・厚利経由で社からの乗り継ぎにより小野まで行く路線について、神姫バスと話し合いを継続する。時間は7分ほど長くなるが、通学定期だと安くなる可能性はある。

東条・滝野地域への支所の設置について

問 高齢化が進む中、住民サービスを維持するには身近に利用できる支所が必要では。

答 支所を作る考えはないが、住民サービスの向上に努める。

問 支所を置かない代わりに公共交通の整備を約束したのではないのか。

答 統合するのであれば公共交通の検討も必要だという考え方である。



後を絶たない高齢者運転の 交通事故防止について

石井 雅彦 議員



問 75歳以上の高齢者の運転で歩行者を巻き添えにした重大な事故が多発しているが、最近3年間の事故件数は

答 平成28年は174件（内75歳以上の運転者が加害者の数は22件）、平成29年は179件（同8件）、平成30年は178件（同20件）となっている。

問 65歳以上の運転免許証返納者の推移は。

答 平成29年は136件、平成30年は153件と増加傾向にある。

問 市は、高齢ドライバーの安全運転をどのように呼びかけているのか。

答 市のHP、広報、ケーブルテレビ、防災行政無線で啓発を行っているほか、年に数回、警察署、加東自動車教習所の協力を得て高齢者交通安全教室も開催している。また、地域での交通安全教室を開催する折は、高齢者にも積極的に参加を呼びかけていきたい。

問 認知症の疑いのある高齢者ドライバーに、地域包括支援センターから家族への働きかけは。

答 この問題に関しても家族から相談がある。その際には、相談内容に応じて医療機関に情報提供し、家族同伴で受診し、医師の見解を確認されることを勧めている。また、窓口での聞きとりや、自宅を訪問し免許証返納手続き

や特典等の情報提供を行い、返納についての相談に応じている。

問 移動式のドライブシミュレーターが市販されているが導入の検討は。

答 自動車の運転技術とマナーを学ぶのに有効であると考え。デスクトップタイプのパソコンを使用するため外部への持ち出しがまだ困難だが、今後、小型軽量化の推移や価格の動向、内容の効果など様々な視点から検証しながら購入に向け検討はしていきたい。

問 東京都が事故防止装置の費用の約9割補助を打ち出したが市ではどうか。

答 アクセルとブレーキの踏み間違い防止装置の後付けの価格、効果を今後検証した上で、市としてどういった対応ができるのか検討を進めて、事故防止につなげていきたい。



警視庁のホームページより

その他の質問

○ふるさと納税新制度について
○夏季休業中の小・中学生の防犯・交通安全対策について

市内交差点付近の安全対策について

別府みどり議員



問 大津市の交差点での事故を受けての危険箇所調査・安全対策は。

答 本市の対策として、市道が関係する横断歩道のある交差点の把握を行った。結果、市内約170箇所が該当し、市道と市道との交差点の現地調査を行っている。その内、安全対策が必要な交差点では、それぞれの形状に応じて車止めポール・U字型の車止めで、車両の飛び込み防止に対応することとし、緊急性の高い箇所を優先的に整備する。

問 現在工事中の新瀬見橋東側の交差点の安全対策は。

答 現場確認を行い、小学校近くの交差点で通学する児童の数が多いことを認識している。県や公安委員会に、地区・PTA等々からの信号機設置要望についても申し入れをしているが、さらに要望を重ね、安全に配慮した交差点づくりに努めたい。

問 自治体に取り組む持続可能な開発目標(SDGs)について。

答 国における持続可能な開発目標(SDGs)実施指針が策定され、各種計画や戦略、方針の策定や改訂に当たってはSDGsの要素を最大限反映することを奨励する旨が定められた。また、

SDGsで示される多様な目標の追及は、

地方自治体の諸課題の解決、地方創生の実現にも資するものであると考えられている。まちづくりにおいては市民や地域、事業者等との協働の取組により、日本経済新聞社発行の日経グローバルにおいて、本市は、人口五万人未満の自治体におけるSDGs先進度が全国第一位という結果に繋がった。こういった結果は市のイメージ向上にも繋がることから、SDGsを意識した取組を進めていくことが重要と考えている。

問 教育現場への導入についての考えは。

答 SDGsで求める持続可能な社会づくりの課題を解決する為に必要な力を子どもたちに育むことは、大変大切なことだと考えている。今後もその理念や取組を研究して、子どもたちの実践に繋がる学びを目指していきたい。

問 熱中症対策等について。

答 熱中症啓発ポスターの作成、災害時備蓄機能を備えた自動販売機の設置、検診や健康サロンなどの機会を活用した脱水対策無料教材と、OS1の配布などの実施に向けて調整中。加えて、ホームページや広報、ケーブルテレビなどで広く啓発を図っていく。

問 大塚製薬との連携協定の後、夏の具体的な取組は。

答 熱中症啓発ポスターの作成、災害時備蓄機能を備えた自動販売機の設置、検診や健康サロンなどの機会を活用した脱水対策無料教材と、OS1の配布などの実施に向けて調整中。加えて、ホームページや広報、ケーブルテレビなどで広く啓発を図っていく。

タブレットパソコンの件について

北原 豊議員



問 タブレットパソコンの見積り依頼もしていないのになぜ見積りがあるのか。

答 設計を行う準備作業として2者に窓口で直接依頼したため依頼書はありません。

問 1者の見積りには防水モデルとの記述もあり。

答 本来なら防湿仕様と表記すべきところ、表記が、あいまいになっていた。次回からは、機能・性能として明記します。

シリーズ名・品名	Q7シリーズ(13.3型ワイド液晶モデル)
プロセッサ・メモリ	ARMV8S T801 32GB
OS	Windows 10 Pro (64bit) (J22)
画面解像度	Windows 10 Pro (64bit) (J22)
ストレージ	Windows 10 Home (64bit) (J22)
動作環境	インテル® Core™ i7-1065G7 プロセッサ (14nm/15W/最大10.5Tbps)
動作環境	インテル® Core™ i7-1065G7 プロセッサ (14nm/15W/最大10.5Tbps)
動作環境	2.7GHz
動作環境	2.2GHz
動作環境	温度: 5~35℃ / 湿度: 20~80%RH (動作時)
動作環境	温度: 10~60℃ / 湿度: 20~80%RH (非動作時)
動作環境	防水・防塵 (IP24)
動作環境	Windows 10 Pro (64bit) (J22)
動作環境	Windows 10 Enterprise (64bit) (J22)
動作環境	Windows 10 Enterprise LTSC 2018 (64bit)
動作環境	Windows 10 Home (64bit) (J22)



その他の質問

○小中一貫校屋上プールの積算について

○空き家があるのに小元団地を建設した理由について

○東条川合流上流の加古川改修(河床掘削)について

○スクールバスでコミバスを走らせることができるのにやらないわけ

とどろき荘の

今後の方向性と活性化について

長谷川 幹雄 議員



問 ぽかぽと比較して力のいれかたが違うがなぜか。

答 「ぽかぽ」は観光施設、「とどろき荘」は福祉と文化の施設で設置目的が違い、市民の方の健康や福祉の増進を図ることとしている。とどろき荘は泉質を売りにしており、地域の方に親しまれている貴重な施設と考えている。多くの方に入浴頂けるようにしっかりとした運営を期待している。

問 今後廃止の方向で進むのか、改善の余地をもって検討されるのか。

答 公共施設等総合管理計画において、施設の収支改善が図れない場合は廃止としており、収支バランスの取れた事業運営を図るため、数値目標を設定し、一層の維持、管理経費を削減するとともに、利用料収入の増加に努める。3年間の運営状況を見てしっかりと検証したいと考えており、公共施設等総合管理計画にのっとった取り組みを行う年間目標7万人の入浴者を目指し、社会福祉協議会とともに、集客できるよう更なる収支改善、施設の活性化に取り組んでいく。

問 死亡後の手続きの一覧の実情について周知や、アピールができていない。

ワンストップで対応するなら早急な対応を望むが。

答 死亡にともなう手続きについては、市民課が総合窓口となり、関係する各課の手続き書類と、死亡後の手続き一覧という案内書面を遺族の方に送付している。後日遺族の方が死亡後の手続き一覧で案内した関係書類をもって市民課に来られれば、その場で死亡後の各種手続きが、円滑に完了するなど、遺族の方の負担の軽減に努めている。今後、市民課における一括の手続き処理をご存じない方がないように市民課において総合窓口の通常業務として行っていることを、7月号の市の広報誌において周知をする予定である。また、市のホームページは見やすく、わかりやすいスタイルに改める。

その他の質問

○ヘルプマークのその後普及率について

○先の見えない公共交通の取組について

闘龍灘周辺の

観光地としての環境整備について

井上 茂和 議員



問 5月の花まつり鮎まつりは、多くの観光客で賑わっているが、落ちついて観覧できる場所がない。現在、旅館跡地が更地にされ観覧するには絶好の場所とされている。地主様にもご理解いただきご協力いただくことを検討して行く考えはあるか。

答 旅館跡地については市が何らかの施策に取り組みの状況である。



闘龍灘

問 加古川整備に伴って、築堤がされる座の浜から闘龍スクエアまでの間の状況が、大きく変わってくることになる。当然観覧する場所がなくなり、旅館の跡地が有効となる。観覧席としての考え方が必要ではないか。

答 花まつり鮎まつりでは、駐車場用地として個人の方から無償で借用し、利用させていただいている実績がある。花まつり鮎まつり開催時に限定した話であれば、実行委員会が借用させてもらえる可能性はある。まつり来場者の利便性、安全性が向上するように実行

委員会とともに検討をしていきたい。

問 多くの市民の方からの声は「あの広い用地は市の観光スポットである以上、公有地として確保しておく必要があるのでは。」と聞いている。臨時的な借用では駄目ではないか。

答 築堤により大きく環境の変化がある近いうちに、まつりのあり方も含め、総合的に検討をしていきたい。



旅館跡地周辺

□にぎわいプラザの今後のあり方について

問 にぎわいプラザには、テナントとして、観光協会があり、数件の店舗があるが、県道からは通行者にはわかりにくい今後どうするのか。

答 県道側から視認し易くするため、関係者と調整の上、魅力ある施設にしていきたい。

ドクターヘリ離着陸場整備について

鷹尾直人議員



問 ドクターヘリは、「空飛ぶ救命救急室」と呼ばれ、救急の専門医師や看護師が搭乗し、現場で治療を開始することで、救急搬送時間を短縮し、患者の救命率の向上や後遺症の軽減を図ることを目的として導入された。今年度旧東条庁舎新館及び東条東体育館跡地に離着陸場を整備しようとしているが、その経緯について。

答 平成29年秋に、公共施設適正化の取組の一環で、旧東条庁舎新館と東条東体育館の取壊し後の跡地利用を検討する中で、東条地域には常に利用できる離着陸場がないことから、加東消防署東条出張所隣接地に整備することにより、迅速な救急搬送が可能となり、市民の安全安心に寄与できると判断した。

問 今後のスケジュールについて。

答 現在、建物取壊しの実施設計を行っている。11月ごろに工事発注し、来年3月下旬に整備完了の予定である。



問 「加東市鳥獣被害防止計画」を策定して、平成29年度から3カ年計画で対策に取り組んでいるが、平成28年度からの被害状況について。

答 28年度は、被害額約320万円、被害件数411件。29年度は、約520万円、381件。30年度は、約340万円、361件である。

問 専門家を交えて、どのような具体的な対策を検討してきたのか。

答 猟友会加東支部や森林動物研究センター、森林動物専門員から、集落柵整備による侵入抑制と加害個体を集中捕獲する対策が効果的として、今後も継続して取り組む。

まちの拠点とにぎわい創出について

桑村繁則議員



問 やしろショッピングパークB・i・o周辺をまちの拠点にふさわしい活力と魅力を備えたエリアにするため、令和元年度から3年間で5億1千万円の予算が計上されるが、新たな交通結節点となるバスターミナルはどのような整備をするのか。

答 乗り換え機能としては、路線バス、タクシードライバー、自主運行バス、観光バスの待機所、停留所を設置する。複数の交通機関の集積による市内外の移動の利便性を高めていく事としている。拠点形成機能として、バスの待合所、地域情報案内、トイレ等を整備し、拠点への誘導を促す道路の改良や新設、河川を利用したくつろぎの場、集いの場の整備を考えている。ランドマーク機能として大型施設のイメージでなく周辺環境を含め空間全体がランドマークとなるような取組を検討している。

問 国道175号・372号線等交差点周辺活性化基本計画とやしろショッピングパークB・i・o周辺活性化事業との関連性はあるのか。

答 理念を踏襲したものとして、第2次総合計画、第2次総合戦略に位置づけ、取り組むものであり、理念上の関連性はある。

問 工事が1億5千万円計上されているがどのような工事か。また、バスターミナルのみで複合施設の建設予定はないのか。

答 バスターミナル部分のみの予算計上で待合所等は含んでいない。民間活力によるまちの拠点整備の足がかりとして進める。

問 社地域小中一貫校の整備について

問 中学校の校舎、体育館、柔剣道場の耐力度調査の結果を踏まえどのように整備されるのか。

答 既存の建物の利活用を考える必要がある。費用が安価で納得できる理由があれば他の方向性を視野にいれ基本計画に上げていく。柔剣道場は危険であり安全性を確保し教育活動を維持するため本年度補強する。

問 柔剣道場の改修工事で多額の費用が掛かるが、基本計画策定の前に新設か既存施設の利活用か、決めるのか。

答 柔剣道場の耐力度は非常に悪い結果が出ている。本格的な整備に向けて基本計画の中で並行しながら位置づけを決めていく。また、今すぐ危険な状態であるので、それまでの間をもたせるといふことで理解願う。

多面的機能支払交付金について

大畑 一千代 議員



問 施設の長寿命化活動での成果は、環境保全活動での良い事例は、活動をより活発にするため公表すべきではないか。

答 平成29年度では、水路改修3km、農道補修0.1km、農道舗装4.1km、ため池補修31か所の実施があった。特徴的な取組としてコスモスやレンゲ栽培、のじぎく群生地の保全活動などがあり問い合わせには紹介している。今後も広く県下に発表していく。

問 制度の一部改正で加算措置や対象農地の拡充等がなされたが、加東市での状況や影響は。

答 加算措置等に取り組む組織はない。長寿命化活動に200万円の上限が設定され、18組織に影響がある。

問 加算措置に取り組む組織がないのは高齢化と人手不足。農作業等を省力化しないと新たな取組は無理。その補助や支援を考えるべきでは。

答 担い手や集落営農組織にしっかりと寄り添っていききたい。

問 この事業の大きな目的は、農道や水路の草刈りや土砂あげの作業を共同で行うことにより、担い手の負担を軽減し農地集積を促進すること。しかし現状は、隣接する農道・水路・市道や県道の法面・河川の堤防まで耕作者が

草を刈っているのでは。それでは農地の集積は進まない。本来の目的を地域にも説明すべき。

答 説明会や地域から問い合わせの際にはそのことを伝えていきたい。

■やしろ鴨川の郷しいたけ園の活用

問 しいたけ園はほとんどが放置されている状態。鴨川の郷協会の指定管理とは別に考えるべきでは。

答 鴨川の郷協会や地元と協議しているが、協会の設立目的からも指定管理から外して活用することは考えていない。鴨川の郷全体エリアをコンパクト化し、経営改善につなげたい。

■夏休み中のアフタースクール

問 応募の状況は。待機児童は発生しないか。

答 委託業者による支援員の確保ができず、43人が入所できない状況。各施設には夏休み直前に空きが発生しないよう夏休みに利用しない児童の把握に努めている。

問 昨年からの改善がされていない。教育委員会が教員OBや免許保持者に直接あたり、支援員を確保すべき。

答 来年度の業者選定に当たり、支援員確保等を条件に付加していきたい。

公共施設の適正化の

今後の取り組みについて

藤尾 潔 議員



問 度重なる年次計画の変更で、財政的な規範がまったくなくなっているように感じる。3月議会では「公共施設の適正化に関する計画」を議決計画から外した。市長の見解と、今後の取り組みについて問う。また、その際は計画の基本的な考えに立ち返り、財政的な面や施設の総量抑制といった面で明確な指標が必要だと考えるが見解は。

答 「公共施設の適正化に関する計画」が議決計画でなくなったことに関しては、議会の判断なので言及はしないが真摯に受け止める。「公共施設の適正化に関する計画」は令和2年度中に見直す。その際、財政的な面、施設の総量抑制といった指標も盛りこむ。

問 公共施設の適正化に取り組む原点となった「公共施設マネジメント白書」が市のホームページから削除されている。

答 所管が変わったときに漏れていたと考える。また載せておく。

■情報公開について

問 30年度の市の会議等の公開の指針にもとづく公開結果、および事前の告知や、事後の記録の公開が適切になされているかについて答弁を求める。

答 平成30年度公開とした会議が82件、

個人情報を扱う等の関係で非公開とした会議が110件。公開対象の82件のうち、会議の周知が遅れたものが11件、会議録の公開が遅れたものが31件あった。

問 市役所が自分で定めているルールなのだから、遅れているものは0件であるべきではないのか。前から何度も指摘しているが、特に難しいことを求めているとも思えないのだが。

答 おっしゃる通りであり0件になるよう取り組む。

■バスターミナル併設の複合施設について

問 このたびB i oでのバスターミナル整備事業を推進しているが、バスターミナルに複合施設を併設する計画である。どのような複合施設を検討しているのか。

答 待合環境の整備などを考えている。

問 3月に示された市の計画では、市の事業費も計上されているが、複合施設は作らないのか。

答 事業者と調整の結果、計画を縮小した。

その他の質問

○外国籍の児童生徒について



「加東市のこんなこと知ってますかあ」をご紹介します知っとう加東の第3回目。

私たちの住んでいる「加東市」。東は文字通り東なのですが、「加」の意味はどういう意味なのでしょう。

「加古川の東でしょう」という声も聞かれますが、それでは滝野地域の加古川より西の地域が加西になってしまいます。

奈良時代に編纂された「播磨国風土記」によると、応神天皇（第15代天皇）の時代、つがいの鴨が巣を作って卵を産んだことから、今の加東市・小野市・加西市二帯を「賀茂郡」と名付けたそうです。

その賀茂郡が平安時代ごろ「賀東郡」「賀西郡」に分かれ、賀東郡を後に「加東郡」と言うようになったのです。

加西市には根日女伝説をはじめ、風土記にちなんだ伝説が数多くありますが、加東市にも風土記ゆかりの地名があります。

神が村々に木の種をお分けになつていた時に足りなくなり、

「ハシタなるかも（数が足りない）」と言われたことから名づけられた端鹿の里。そのため木の実がならない榎や檜・杉が山に生えるようになったそうです。



はしかの里

巨勢部が住んでいたことから名づけられた起勢の里。

かつては塩分を含んだ冷泉が出ていたため塩野と言っていたが、穂積臣が住むようになったため改名した穂積の里。

応神天皇がお越しになった時に、霧のためはつきりと見えなことから名づけられた小目野（今の野村地区の小部野）などの地名があります。

「加東」の「加」の字から遠い祖先の心を感じてみてはいかがでしょうか。

（藤尾 潔）

議会の傍聴に お越しく下さい

議場は加東市役所5階にあります

9月の予定

3日(火)9時30分

4日(水)9時30分

5日(木)9時30分

9日(月)～11日(水)9時30分

17日(火)9時30分

19日(木)9時30分

26日(木)9時30分

定例会(初日)

総務文教常任委員会

産業厚生常任委員会

決算特別委員会

決算特別委員会

定例会(2日目 一般質問)

定例会(3日目)

○定例会はKCV(121ch※録画可能)および加東市議会HPで生放送をし、KCVでは録画放送もしております。スマートフォン等で右のQRコードを読み取って『加東市議会』のホームページをご覧ください。
ホームページ <http://www.city.kato.lg.jp/gikai/index.html>
電子メール gikai@city.kato.lg.jp



クイズ&アンケート募集

市民の皆様から、かとう市議会だよりへのご意見を聴かせていただくためクイズ&アンケートを行います。

クイズに正解し、ご意見を書いていただいた方から抽選で5名様に、やしろ商店連合会加盟店で使える1,000円分の商品券を差し上げますので、奮ってご応募ください。なお、当選者の発表は商品券の発送をもってかえさせていただきます。

クイズ □に入る文字は？

加東市は消防署跡地に□□施設を誘致。

応募方法

- ① クイズの答え
- ② 市議会だよりや、市議会へのご意見をハガキにお書きの上、

〒673-1493 加東市社50
加東市議会事務局 Q & A 係
までお送りください。(8月21日必着)

議会広報委員会
委員長 井上 茂和
副委員長 高瀬 俊介
委員 桑村 繁則
藤尾 雅潔
石井 直彦
鷹尾 直人
別府 みどり

「かとう市議会だより」も今回で50号の節目を迎えることができました。私は第1号の編集委員会の委員長でもありました。発刊のご挨拶で述べさせていただいた「わかりやすい議会だより」「議会を身近に感じていただく」という初心をあらためて思い起こしています。

合併時、旧東条町議会のみが議会だよりを発行しており、議会だよりを発行するかどうかがまず議論になりました。「質問した議員だけ名前や顔の宣伝になるじゃないか」という声もありました。

議会だよりをきっかけに市民の方からお問い合わせをいただくことも多く、あの時議会を発行を決断したのは間違いではなかったと思ふとともに、現状に甘んじることなく、今後とも努力してまいります。

（藤尾 潔）

編集後記